

令和4(2022)年4月1日～  
令和5(2023)年3月31日

# 日本財団助成事業 「聴覚障害者のための キャリアサポートセンターの設置」

(事業ID: 2022011637)

令和4(2022)年度活動報告書



当事業ホームページはこちら！

⇒ <https://tsukutech-social.net/site/>



## 【目次】

### 1. 日本財団助成事業「聴覚障害者のためのキャリアサポートセンターの設置」の概要

(1) 背景	1
(2) 当事業の目的	1
(3) 事業担当者	2
(4) 事業計画（全体）	2
(5) 事業計画（2022年度）	3

### 2. 実情調査の実施

(1) 筑波技術大学卒業生へのヒアリング調査	4
(2) 企業へのヒアリング	4

### 3. 聴覚障害者の就労に関する支援

(1) 社会人聴覚障害者への支援	5
(2) 聴覚障害学生への支援	10
(3) 企業への支援	14

### 4. 拠点の整備

(1) 当事業ホームページの拡充	16
(2) SNS の活用	16

### 5. 令和5年度事業について

18
----

# 1. 日本財団助成事業「聴覚障害者のためのキャリアサポートセンターの設置」の概要

## (1) 背景

大学へ進学する障害学生数が増加傾向にある昨今、在学中の修学支援については、個々の大学における障害学生支援室の設置や筑波技術大学に事務局を置く日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク(PEPNet-Japan)をはじめとした大学間連携体制の構築が着々と進められてきました。しかし、卒業後を見据えたキャリア支援の取り組みは緒に就いたばかりで、特に、コミュニケーションに不自由さがある聴覚障害学生の利用を見込んで情報保障等の体制を整備しているサービスは、ほとんど見られません。聴覚障害学生が長期的なキャリアを見据えて進路選択をするための情報やロールモデル、就職後に悩みを共有する場、積極的なキャリアアップを目指す際の学びの場が不十分であるために、職務内容や職場環境とのミスマッチが生じ、短期間での離転職を余儀なくされるケースも少なくありません。

そこで、聴覚・視覚障害者を高度専門職業人として養成する使命を長年担ってきた本学として、学校卒業後の聴覚障害者のキャリア支援に関する取り組みを全国的に強化していく役割を担うべく、2019(平成31)年度～2023(令和5)年度の5カ年計画を構想し日本財団助成事業「聴覚障害者のためのキャリアサポートセンターの設置」を受託いたしました。

## (2) 当事業の目的

当事業では、聴覚障害学生が自らの進路を積極的に選択できるための情報や機会の提供、就職後の負担を低減するための職場環境設定の提案、大学卒業後も学び続けられる場の整備などを通じて、多面的なキャリアサポート支援体制を構築することを目標としています。

### <中長期的目標(2023年度の事業完了時まで)>

筑波技術大学ならびに全国3箇所に置かれた拠点大学等に聴覚障害者ライフ&キャリアサポートセンター(以下サポートセンター)(仮称)を設置します。サポートセンターには聴覚障害当事者を含む相談員を配置し、ここを拠点に聴覚障害のある社会人と現役学生、企業を繋ぐための相談・コンサルティング、各種セミナー開催等を行います。

### <最終目標>

拠点ネットワークを全国に拡大し、すべての地域でサポートセンターを利用できる体制を構築します。聴覚障害学生が長期のインターンシップ経験を元に大学での学びを深められる支援モデルの提案・導入、小中学校・高等学校の児童生徒に対する幼少期からのキャリア教育の実践、職場における情報保障体制の提案等を通して、聴覚障害者が幼少期から将来社会で働く自分をイメージしながらキャリアを積み重ね、その力を職場等で発揮できる社会の実現を目指します。

### (3) 事業担当者

- 河野 純大 : 筑波技術大学 産業技術学部 准教授 (当事業責任者)
- 加藤 伸子 : 筑波技術大学 産業技術学部 教授
- 白澤 麻弓 : 筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター 教授
- 小林 彰夫 : 筑波技術大学 産業技術学部 准教授
- 安 啓一 : 筑波技術大学 産業技術学部 講師
- 横井 聖宏 : 筑波技術大学 産業技術学部 助教
- 後藤 由紀子 : 筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター 助教
- 石田 祐貴 : 筑波技術大学 産業技術学部 特任助教
- 田中 陽土 : 筑波技術大学 産業技術学部 研究員
- 松谷 朋美 : 筑波技術大学 産業技術学部 事務補佐員

### (4) 事業計画 (全体)

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
調査	・卒業生/社会人聴覚障害者を対象としたニーズ調査 ・海外視察調査 (RIT、ギャローデット等)	・他大学へのヒアリング (PEPNet-Japan 情報交換会)	・企業に対するヒアリング		
センター整備	・サポートセンター設置準備室の開設 ・オフィスの確保 ・人員の配置	・サポートセンターの開設 ・遠隔システム導入	・サポートセンター本格始動 ・人員の増員		
サテライトオフィス整備	・オフィスの確保 ・環境整備	・サテライトオフィス開設 ・遠隔システム導入	・サテライトオフィス本格始動		
Webサイト整備	・サーバー設置 ・HP 開設 ・SNS サイト構築に向けた準備	・SNS サイト開発	・保守メンテナンス ・機能拡充	・保守メンテナンス ・機能拡充	・保守メンテナンス ・機能拡充
社会人対象事業	・相談窓口の開設 ・カタリバの開設 ・サポート講座の開催 (いずれも不定期)	・相談窓口の開設(週 2) ・カタリバの開設(月 1) ・サポート講座の開催 (定期)	・相談窓口の開設(週 5) ・カタリバの開設(月 1) ・サポート講座の開催 (定期) ・教材作成	・相談窓口の開設(週 5) ・カタリバの開設(月 1) ・サポート講座の開催 (定期) ・教材作成	・相談窓口の開設(週 5) ・カタリバの開設(月 1) ・サポート講座の開催 (定期) ・教材作成
学生対象事業	・先輩の話を聞く会 (ランチトーク) ・会社説明会/集団面接の実施	・相談窓口の開設 ・キャリア支援セミナーの開講 ・会社説明会/集団面接の開催	・相談窓口の開設 ・キャリア支援セミナーの開講 ・会社説明会/集団面接の開催 ・インターンシップ拡充	・相談窓口の開設 ・キャリア支援セミナーの開講 ・会社説明会/集団面接の開催 ・インターンシップ拡充	・相談窓口の開設 ・キャリア支援セミナーの開講 ・会社説明会/集団面接の開催 ・インターンシップ拡充
企業対象事業			・企業向け相談窓口の開設 ・上記ヒアリングを通じた情報交換	・企業向け相談窓口の開設 ・企業向けセミナーの開催	・企業向け相談窓口の開設 ・企業向けセミナーの開催
他大学拠点整備		・上記ヒアリングを通じた情報交換	・支援拠点形成に向けた協議開始	・全国3か所に支援拠点設置準備室開設 ・相談窓口の開設 ・人員の配置 ・サポート講座開催	・全国拠点始動 ・相談窓口開設 ・サポート講座開催 ・キャリア支援セミナーaの開講

なお、この計画は 2018 年度に行った当事業の助成申請時に作成したものであり、社会情勢の変化や事業の進捗状況等によって一部変更となる可能性があります。

## (5) 事業計画 (2022 年度)

	内容	対象・方法	実施時期 (目安)
<b>1. 実態調査の実施</b>	ヒアリング調査	対象： 筑波技術大学卒業生 8 名 企業 3 社	6～1 月
<b>2. 拠点の整備</b>	(1) つくば・東京 オフィスの運用	筑波技術大学内拠点の運用・サテライトオフィス ならびに相談窓口の運用	通年
	(2) SNS の運用	SNS サイトなどのポータルサイトの整備と運用	通年
	(3) メールマガジン 配信・ピアサポ ーター登録システ ムの開発・運用	当事業のイベント情報などを配信、また当事業へ の協力者をピアサポーターとして登録するた めのシステムの開発・運用	～8 月
	(4) 相談スケジュー ル予約システム の開発	聴覚障害当事者や企業の方からの相談時のスケ ジュールを調整するための Web システムの開発	6～3 月
	(5) 他大学との連携 協議	聴覚障害者のキャリアサポート体制構築のため の他大学との連携協議	通年
<b>3. 社会人聴覚障害者 対象事業の実施</b>	(1) 相談窓口対応		通年
	(2) 聴覚障害者のある社会人のための情報交換会の開催		通年
	(3) ライフ&キャリアサポート講座の開講		6 月/8 月/10 月/12 月/2 月
	(4) 教材作成		通年
<b>4. 現役聴覚障害学生 対象事業の実施</b>	(1) 進路相談対応		通年
	(2) 合同企業説明会の開催		5 月
	(3) キャリア支援セミナーの開講		12 月
	(4) 先輩の話を聞く会の開催		2 月
	(5) 他大学を含めた合同就活セミナー		10 月
	(6) インターンシップの拡充に関する検討		通年
<b>5. 企業対象事業の 実施</b>	(1) 企業向け理解啓発セミナー		12 月
	(2) 合同企業説明会の開催		5 月
	(3) ホームページからの相談受付		通年

## **2. 実態調査の実施**

### **(1) 筑波技術大学卒業生へのヒアリング調査**

2022年7月から3月にかけて、8名の筑波技術大学卒業生にヒアリング調査を行いました。  
本調査は2023年度にかけて継続し、結果の分析が終わり次第、公表します。

### **(2) 企業へのヒアリング**

コロナ禍による繁忙等で協力企業を見つけることが難しかったため、継続課題とします。

### 3. 聴覚障害者の就労に関する支援

#### (1) 社会人聴覚障害者への支援

##### ① 相談対応

筑波技術大学教員、キャリアサポートセンタースタッフ等が相談対応を行っております。  
つくば拠点、サテライトオフィスでの対面相談の他、メール相談も受け付けております。

対応実績： 対面相談 6件  
オンラインでの相談 78件  
メール・SNS等を用いた相談 198件

##### ② 「聴覚障害のある社会人ための情報交換会」の開催

「聴覚障害のある社会人のための情報交換会」は、聴覚障害のある社会人の方々が働く上での工夫や悩みなどについて、ざっくばらんに“語り”ながら情報交換できる場を提供することを目的としたイベントです。

本年度は下記の5回、オンライン開催いたしました。第1回目は、テレワーク経験のある聴覚障害当事者や、企業等での社会経験が豊富な聴覚障害当事者を話題提供者・助言者としてお招きし、コロナ禍に伴うテレワークのメリット・デメリットやテレワークでの工夫、使用しているツールについてお話をいただきました。第2回目と第4回目は、それぞれメインテーマを設けて、参加者や筑波技術大学の教職員を交えて、情報交換や談話を実施しました。第3回目は子育て経験のある聴覚障害当事者や、副業・兼業といった多様な働き方をしている聴覚障害当事者をゲスト講師としてお招きし、それぞれの働き方や現状と各々が抱えている思いなどをお話をいただきました。第5回目は筑波技術大学教員から、障害者雇用促進法の観点から「職場における合理的配慮」について講話を行い、また参加者間で、職場で配慮を伝える上で日々困難を感じている場面とその解消方法について意見が交わされたり、合理的配慮をわがままと誤解されてしまう事例などを語り合ったりしました。

	開催日程	概要	ゲスト講師	参加者	参加者の参加満足度 (5段階評定)
第1回	2022年 7月2日 14:00～ 17:00	メインテーマ：「聴覚障害者のテレワーク」 1. 話題提供者2名からの話題提供 助言者からの啓蒙・助言 【情報保障】講師本人が手話・音声で発話 +遠隔手話通訳+PC文字通訳 2. グループごとの談話・情報交換 【情報保障】各自が手話・音声により発話 +遠隔手話通訳+PC文字通訳 +スタッフによる文字通訳のフォロー	聴覚障害のある 社会人2名 日下部 隆則氏 (同志社大学 SDA室)	24名	4.3

第2回	2022年 9月10日 14:00～ 16:30	メインテーマ：「職場での障害理解に関する取り組み」 1. 全体での談話・情報交換 【情報保障】各自が手話・音声により発話+手話通訳+文字通訳 +スタッフによる文字通訳のフォロー	なし	11名	4.2
第3回	2022年 11月5日 14:00～ 17:00	メインテーマ：「多様な働き方」 1. 話題提供者3名からの話題提供 【情報保障】講師本人が手話・音声で発話 +遠隔手話通訳+PC文字通訳 2. グループごとの談話・情報交換 【情報保障】各自が手話・音声により発話+手話通訳+PC文字通訳 +スタッフによる文字通訳のフォロー	聴覚障害のある社会人 3名	20人	4.6
第4回	2023年 1月13日 19:30～ 21:00	メインテーマ：「障害理解とアイデンティティ」 1. 全体での談話・情報交換 【情報保障】各自が手話・音声により発話 +遠隔手話通訳+PC文字通訳 +スタッフによる文字通訳のフォロー	なし	10名	3.8
第5回	2023年 3月25日 14:00～ 16:00	メインテーマ：「職場における合理的配慮」 1. 筑波技術大学教員からの講話 【情報保障】講師本人が音声で発話 +遠隔手話通訳+PC文字通訳 2. 全体での談話・情報交換 【情報保障】各自が手話・音声により発話 +遠隔手話通訳+PC文字通訳	本学教員 1名	12名	4.3

第1回情報交換会



第2回情報交換会





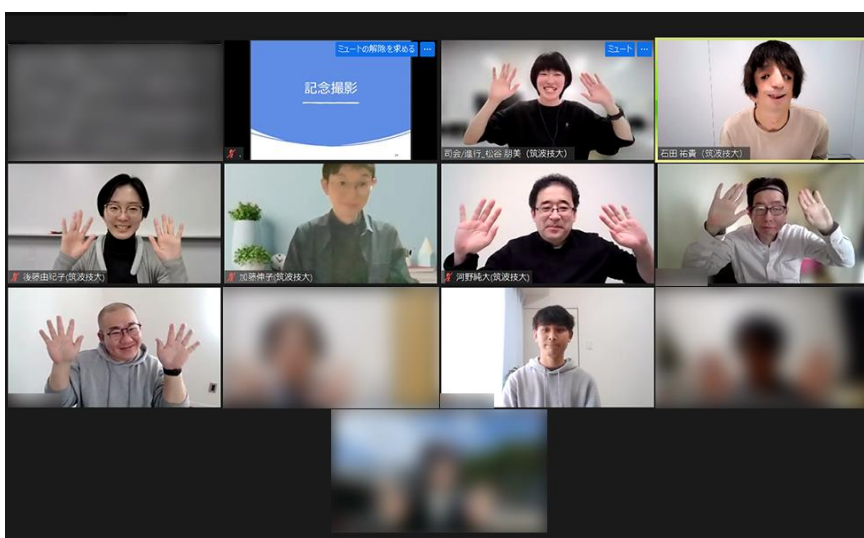
### 第3回情報交換会



### 第4回情報交換会



### 第5回情報交換会



### ③「ライフ&キャリアサポート講座」の開講

本年度は、スキルアップ、キャリアアップ、一般教養に関する各種講座・セミナーを計 23 日開催し、のべ 138 名の方にご参加いただきました。

全て Web 会議システム Zoom を用いたオンライン開催で行いました。いずれの回についても参加者への情報保障として手話通訳（Zoom 上で閲覧可）と文字通訳（Zoom の講師画面下）を配置しました。

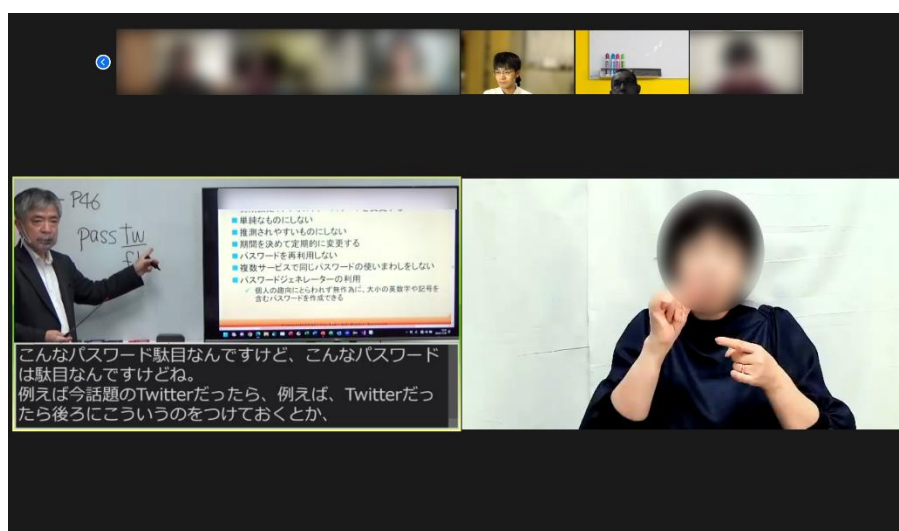
講座・セミナーの具体的な内容等は以下の通りです。

#### 【スキルアップに関する講座】

テーマ	開催日程	概要	講師	受講者	参加者の参加満足度 (5段階評定)
応用情報技術者 試験対策講座	(全4日間) 2022年8月17日 8月24日 8月31日 9月7日	情報処理技術者試験の中の「応用情報技術者試験」に関する重点学習項目の解説・演習	学外講師 1名	4日間 のべ 30名 参加	4.3
TOEIC 試験 対策講座	(全4日間) 2022年10月16日 10月30日 11月20日 12月4日	TOEIC 試験の Reading パートに関する解説と演習	学外講師 1名	4日間 のべ 13名 参加	4.6
英文ビジネス メールの書き方 講座	(全2日間) 2023年2月4日 2月18日	英文ビジネスメールの基本的マナー、形式等に関する講義と問題演習	学外講師 1名	2日間 のべ 8名 参加	4.3
ネットワーク セキュリティの 基礎講座	(全2日間) 2022年11月2日 11月30日	ネットワークセキュリティの基礎知識に関する解説と演習	学外講師 1名	2日間 のべ 33名 参加	4.0

【キャリアアップに関する講座】

テーマ	開催日程	概要	講師	受講者	参加者の参加満足度 (5段階評定)
ビジネス マネジメント の基礎講座	(全3日間) 2022年11月26日 12月10日 12月24日	① 業務上でのコミュニケーション ② 業務のマネジメント ③ 人材育成と評価	学外講師 1名	3日間のべ 38名 参加	4.5
社会保険労務士 試験対策講座	(オンデマンド配信) 2023年3月10日   2024年3月 末日	国家資格 社会保険労務士試験に関する基本知識や重要事項となる内容を網羅した講座	--	16名 申込	-- (配信中 につき未 集計)



ネットワークセキュリティの基礎講座の様子 (左: 講師+文字通訳、右: 手話通訳)

#### ④ 教材作成

【参照】 p.8 ③ライフ&キャリアサポート講座

教材作成として、社会保険労務士試験対策のための講座用 DVD に字幕を付与した動画（全 30 時間分）を作成しました。2023 年 4 月現在オンデマンド配信中で、企業等で人事労務を担当している方や社会保険労務士資格に関心のある方々が受講くださっています。社会保険労務士は国家資格であり、難易度の高い試験ですが、専門学校等で学ぼうと思っても十分な情報保障が配置されない場合も多いため、受講機会の得られなかった聴覚障害のある社会人の方々が関心を寄せてくださっています。また、ライフ&キャリアサポート講座で開講した 5 講座のべ 15 回分（約 36 時間）についても録画配信を行い、各自の都合に合わせて学びやすい学習環境を整えました。

### (2) 聴覚障害学生への支援

#### ①相談対応

当事業担当者 1 名がキャリアサポーターとして、筑波技術大学の聴覚障害学生の進路相談・就職活動支援（履歴書添削、面接練習、障害特性の整理、等）を行っております。

対応実績： 対面相談 45 件  
オンラインでの相談 13 件  
メール・SNS を用いた相談 74 件

#### ②「就職セミナー（インターンシップ説明会）」への開催協力

※筑波技術大学 聴覚障害系就職委員会の主催

当事業からは、参加学生向け事前講座への講師派遣、説明会当日の運営協力を行いました。

開催日程： 2022 年 5 月 18 日（水） 14:40 - 17:30  
6 月 8 日（水） 14:40 - 17:30

開催方法： Zoom を使用したオンライン開催

参加者： 企業 のべ 14 社、筑波技術大学学生 のべ 120 名

概要：

- ・ 2022 年 5 月 11 日（水） 参加学生向け事前講座  
…オンライン面接における基本的マナーや参加する上での準備・心構え等に関する講話を行った。
- ・ 2022 年 5 月 18 日（水） 説明会 1 日目（参加企業：8 社）  
…前半は参加企業を 2 グループに分け、学生が事前アンケートに答えた内容にもとづいて希望するグループの説明会に訪問（Zoom のブレイクアウトルーム機能を活用）、後半からは 1 グループで参加企業の説明会を行い、学生は Zoom のチャット機能を用いて質問等を行った。
- ・ 2022 年 6 月 8 日（水） 説明会 2 日目（参加企業：6 社）  
…参加企業の説明会を行い、学生は Zoom のチャット機能を用いて質問等を行った。

#### 情報保障：

情報保障の配置を希望した企業の説明には筑波技術大学が手話通訳・文字通訳を配置し、希望しなかった企業は独自に実施（手話の出来る社員の方が話す、説明内容を別の社員の方がチャットに打ち込む、背景スライドに話す内容を細かく記載する、等）した。

### ③「キャリア支援セミナー」の開催

※筑波技術大学 聴覚障害系就職委員会との共催

開催日程： 2023年1月23日（月） 10：30 - 12：00

開催方法： Zoomを使用したオンライン開催

参加者： 筑波技術大学学生 30名

#### 概要：

講師にメットライフ生命保険株式会社 人事人材採用チームの大嶽 翔氏（筑波技術大学卒業生）をお招きし、就職・転職活動のエピソードや現在の仕事内容、ワークライフバランスに対する考え方等についてお話しいただいた。

#### 情報保障：

講師が声で話す他、手話通訳・文字通訳を配置（通信環境によっては講師の手話が途切れてしまう可能性があることや手話の読み取りが苦手な学生がいることを考慮し、手話と文字という複数の伝達手段を手配した）。

### ④「先輩の話を聞く会」の開催

※筑波技術大学 聴覚障害系就職委員会との共催

開催日程： 2023年1月30日（月） 10：30 - 12：00

開催方法： Zoomを使用したオンライン開催

参加者： 筑波技術大学学生 29名

#### 概要：

講師に長野県北安曇郡 松川村教育委員会の中村 晃大氏（筑波技術大学卒業生）をお招きし、就職活動のエピソードや現在の仕事内容、公務員という仕事の特性ややりがい等についてお話しいただいた。

#### 情報保障：

講師が声で話す他、手話通訳・文字通訳を配置（通信環境によっては講師の手話が途切れてしまう可能性があることや手話の読み取りが苦手な学生がいることを考慮し、手話と文字という複数の伝達手段を手配した）。

## ⑤聴覚障害学生対象！就職活動応援セミナー

本企画は、全国の高等教育機関に在籍する聴覚障害学生を対象とし、聴覚障害学生が自らの進路を積極的に選択および選択した進路を勝ち取り、職場等で力を発揮するために必要な視点や意識を育むことを目的として、開催しました。今回は「先輩たちの就職活動体験談」と「就職活動に役立つセミナー＆ワーク」の二部構成のプログラムで実施しました。

開催日程： 2023年2月16日（木） 13:00 - 16:00

開催方法： Zoom ミーティングを使用したオンライン開催

参加者： 聴覚障害学生 17名

（見学）大学等教職員 5名

概要（当日プログラム）：

《第1部》先輩たちの就職活動体験談

講師：筑波技術大学卒業生含む聴覚障害のある社会人3名

《第2部》就職活動に役立つセミナー＆ワーク

2つのグループに分かれて実施した（Zoom ミーティングのブレイクアウトセッションを利用）。

・セミナー①「自身のキャリアの軸を考える」

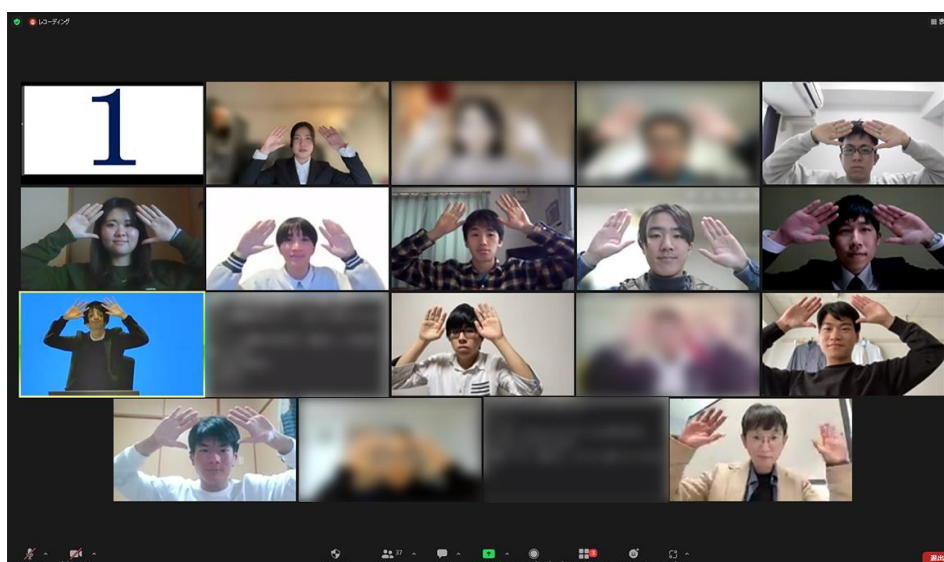
講師：田中 信一郎 氏（NEC フィールディングサポートクルー株式会社）

・セミナー②「障害の伝え方を考える」

講師：笠原 桂子 氏（株式会社 JTB データサービス）

情報保障：

第1部・第2部のいずれのセミナーにも、手話通訳・文字通訳を配置し、Zoom 上に提示。



企画当日の記念写真

## ⑥ Web アプリケーションエンジニア開発体験

【参照】 p.16 (4) 相談スケジュール予約システム開発

筑波技術大学学生を対象に、Web システムを開発するためのチーム開発体験を行いました。

### 実施期間：

**勉強会（全 5 回、各日 1.5 ～ 3 時間開催）**

2022 年 10 月 5 日（水）、14 日（金）、19 日（水）、26 日（水）、11 月 2 日（水）

**業務体験**

2022 年 11 月 9 日（水）から 3 月 29 日（水）まで、週に 7.5 時間のペースで体験

実施方法： 対面

参加者： 筑波技術大学学生 3 名

概要：

聴覚障害があり、情報系のシステム開発の勤務経験を持つ当事業の担当者（田中陽土）が、自らの経験を元に Web アプリケーション開発の勉強会および業務体験を実施した。

勉強会では、Ruby on Rails（オープンソースの Web アプリケーションフレームワーク）を用いて開発するための基礎と環境設定方法について講義と演習を行った。また、業務体験時には、当事業で開発・運用予定である相談スケジュール予約システムを題材に、学生それぞれに、システム設計業務とプログラミング業務を依頼して、実際の開発の流れを把握できるようにした。

成果：

体験者全員それぞれが、以下の開発技術の向上が見られた。

- Web システムの開発に必要な言語知識（HTML、CSS、JavaScript、Ruby）
- チームで問題を解決するための力
- （システムを使う）相手の立場に立って考える力

特に、体験者の中には、自らの進路について、システムエンジニアなどの開発職か事務職のどちらを志望するか迷っている学生もいたが、体験終了後は、依頼された開発業務を最後までやり遂げたという一つの自信と、経験の少ないプログラミング言語であっても、自らの力のみで業務に取り組むことができた成功経験が得られたことが要因であるのか、改めて開発職に就くことを第一に考える方向で進路が固まったように見受けられた。

### (3) 企業への支援

#### ①「就職セミナー（インターンシップ説明会）」の開催

【参照】 p.10 (2) 聴覚障害学生への支援 ②「就職セミナー（インターンシップ説明会）」への開催協力

#### ②「大学等を卒業した聴覚障害者の就労に関する産学連携シンポジウム」への開催協力

※筑波技術大学 聴覚障害系就職委員会の主催

本シンポジウムは、企業の人事・採用担当者や筑波技術大学学生・教職員を対象とし、大卒聴覚障害者の就労時において起こる課題の改善策や、学生自身が就労前に準備すべき事柄を探ることを目的として、毎年開催しております。今回は Zoom ウェビナーによる講演と Zoom ミーティングによるワークショップの 2 部構成で「聴覚障害者が就労した際の職場適応」をテーマとして実施しました。当事業からは、開催当日の配信管理やワークショップにおけるファシリテーターの派遣等の協力を行いました。

開催日程： 2022 年 11 月 30 日（水） 10:00 - 12:00、13:30 - 15:00

開催方法： Zoom ウェビナー、Zoom ミーティングを使用したオンライン開催

参加者： 企業関係者 75 名

概要（当日プログラム）：

《第 1 部》聴覚障害者の就労事例（入社～定着に至るまでの経過）

講師：長谷川 晃子 氏（国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構）

矢野 耕二 氏（東京聴覚障害者支援事業所）

高橋 紀世 氏、黒沢 廉 氏（スカイマーク株式会社）

《第 2 部》ワークショップ

講師：長谷川氏、矢野氏、高橋氏、黒沢氏（第 1 部講師）

藤巻 鉄士 氏（練馬区立大泉障害者地域生活支援センター）

他、筑波技術大学学教員

「①聴覚障害者の就労定着支援の実情」、「②聴覚障害者のキャリア・学び直し支援」、「③本学学生と企業のコミュニケーション体験」、「④企業間情報交換会」の 4 つのテーマに分かれて交流を図った（Zoom ミーティングのブレイクアウトセッションを利用）。

情報保障：

第 1 部には手話通訳・文字通訳を配置。第 2 部では、ファシリテーター（筑波技術大学教員）がコミュニケーションサポートを行う他、手話通訳・文字通訳を必要なグループに配置。





産学連携シンポジウム ワークショップの様子

### ③聴覚障害理解研修の実施

筑波技術大学卒業生を雇用している企業からの依頼を受け、2022年10月に聴覚障害に関する理解啓発研修を実施しました。聴覚障害の特徴に関する講義や字幕情報のみのオンライン会議の模擬体験等を行ったところ、「オンライン会議の不自由さが感じられた」「音声認識ツールだけではなかなかその場の雰囲気等も分からない。実際に体験を見ていて孤独等を感じる事ができてよかった」「聞こえることが当たり前ではないことを再認識した」といった感想をいただきました。

## 4. 拠点の整備

当事業ホームページはこちら！

⇒ <https://tsukutech-social.net/site/>



### (1) 当事業ホームページの拡充

一昨年度開設したホームページ (<https://tsukutech-social.net/site/>) に、(3) メールマガジン配信・ピアサポーター登録システムの開発に伴って、聴覚障害のある社会人の方々の当事業への協力についてお願いする「聴覚障害のある社会人の方へ」というページを新たに作成し、HPの拡充を行いました。

### (2) SNSの活用

2020年9月に開設した、当事業のLINE公式アカウントの友だち登録者数は2023年3月31日現在で90名となりました。

**LINE公式アカウントID：@824fhwoj**

(※名称：聴覚障害者のためのキャリアサポート)



### (3) メールマガジン配信・ピアサポーター登録システムの開発

当事業のイベント情報などをメールマガジンで配信するために、また当事業への協力者をピアサポーターとして登録するためのシステムを開発し、2022年4月1日からシステムの登録者の募集を開始しました。さらに、2022年10月1日からメールマガジンの登録者を対象に、配信を開始しました。



「オンデマンド形式の社会保険労務士試験対策講座」案内時のメールマガジン

(2023年2月10日配信)

#### (4) 相談スケジュール予約システムの開発

聴覚障害当事者や企業の方などが、聴覚障害に関する諸問題について円滑に相談できるように、相談スケジュールを調整するための Web システムの開発を進めております。

#### (5) 大学等の教職員を対象とした聴覚障害学生のキャリア支援に関する情報交換会

本企画は、高等教育機関における教職員の方を対象とし、聴覚障害学生のキャリア支援に関する情報共有や意見交換、聴覚障害学生へのキャリア支援のための大学間連携を構築することを目的として、開催いたしました。

開催日程： 2023年2月16日(木) 16:15 - 17:30

開催方法： Zoom ミーティングを使用したオンライン開催

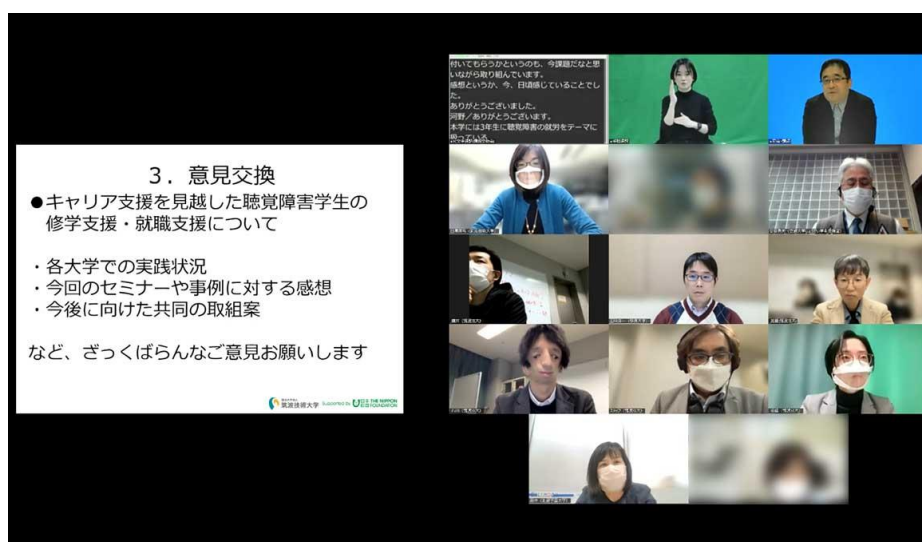
参加者： 大学等教職員 6名

概要：

本学が行っている聴覚障害学生の就職支援や就労後の聴覚障害者への就労支援の事例紹介、当事業が実施した「聴覚障害者の職業生活・支援ニーズに関する実態調査」の報告、参加大学における現状や抱えている課題等について、情報共有・意見交換を行った。

情報保障：

手話通訳・文字通訳を配置し、Zoom 上に提示。



企画当日の様子

## 5. 令和5年度事業について

### (1) 実態調査の実施

2023年（令和5）年度は、海外における教育機関 - 就労支援機関 - 企業といった他機関連携の状況から聴覚障害学生・者のキャリアサポート体制の構築に向けた示唆を得ることを目的としたオンライン視察を行います。

### (2) 社会人聴覚障害者への支援

2023年（令和5）年度も引き続き、社会人のための情報交換会を定期的で開催し、課題やニーズに合わせたテーマ設定を行いながら、実施してまいります。また、ライフ&キャリアサポート講座も、リアルタイム視聴のみならず、オンデマンドでの配信も行い、幅広い方々に学んでいただける形で実施いたします。

### (3) 聴覚障害学生への支援

筑波技術大学の在学生の支援に関しては、2023年（令和5）年度も引き続き大学内の各組織と連携しながらイベント開催や相談対応を行う他、当事業で仕事体験として聴覚障害学生を雇用し、キャリア教育にも取り組んでいきます。また、聴覚障害学生を対象とした就活セミナーといった企画や相談対応等を通して、他大学に在籍する聴覚障害学生へのキャリアサポートの拡充にも努めます。

### (4) 企業への支援

2023年（令和5）年度も、引き続き企業を対象とした障害理解研修や理解啓発セミナーといった企画を通して、聴覚障害者のサポートのための情報やノウハウを共有していくと共に、相談窓口の周知を進め、より多くの個別の相談支援が受けられるよう、相談支援体制の整備を進めてまいります。

### (5) 拠点の整備

2023年（令和5）年度は、これまで整備してきた各種システムの運用を続けると共に、より相談対応がスムーズに行えるよう相談スケジュール予約システムの開発を進めます。また、複数機関（大学、就労支援施設等）と連携しながら、相談対応・イベント企画・ノウハウや情報の共有等の機会を作り、聴覚障害者のためのキャリアサポート体制の礎を築くことを目標とします。

**日本財団助成事業「聴覚障害者のためのキャリアサポートセンターの設置」**

**令和4年度活動報告書**

執筆・編集：

筑波技術大学 産業技術学部	河野 純大
障害者高等教育研究支援センター	後藤 由紀子
産業技術学部	石田 祐貴
産業技術学部	松谷 朋美

事業担当者：

河野 純大、加藤 伸子、白澤 麻弓、小林 彰夫、安 啓一、横井 聖宏、  
後藤 由紀子、石田 祐貴、田中 陽土、松谷 朋美

発行：

日本財団奨学寄付金  
「聴覚障害者のためのキャリアサポートセンターの設置」事業 つくば拠点  
〒305-8520 茨城県つくば市天久保 4-3-15  
国立大学法人筑波技術大学 総合研究棟 R207 室  
TEL, FAX: 029-858-9021 E-mail: career\_support@tsukutech-social.net

発行日：

令和5年4月